（様式第２号）

自動車整備士養成施設の教育高度化による整備人材の育成・確保調査事業

調査事業計画書

**Ⅰ．調査プロジェクト名称**

|  |
| --- |
| ＊本調査の通称となるようなプロジェクト名を記載ください。  　 例）「電気自動車導入による理解度向上調査」など |

**Ⅱ．調査事業で購入する教材概要**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 購入予定教材名称 | 購入予定数量 | 予定費用 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  | 合計予定費用 |  |

**Ⅲ．教材導入によって期待される効果等**

**１．現在の課題**

|  |
| --- |
| 例）施設の車両教材が、ガソリン車のみとなっており、近年普及が進んでいる電気自動車などの車両構造等の理解度の低さが課題となっている。また、このことから、整備工場等の現場と卒業生の知識にギャップが生じており、即戦力としての生徒を輩出できなくなっている。 |

**２．教材によって期待する効果**

|  |
| --- |
| 下記の項目から当てはまるものを全て選択してください。  また、その他を選択された方は具体的な内容をご記載ください。  １．生徒の理解度の向上  ２．整備士資格合格者数の向上  ３．入学予定者数の向上  ４．その他　＊具体的にご記入ください。 |

**３．効果の計測方法**

|  |
| --- |
| 教材導入の効果を定量的に把握できるものをご記入ください。なお、期待する効果で定量的に把握することが困難な場合は、定性的に把握できるものをご記入ください。  定量的な把握方法の例）「模擬試験による理解度向上に関する点数」  定性的な把握方法の例）「アンケート等による理解度向上の割合」 |

**Ⅳ．調査スケジュール**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施項目 | ２月 | ３月 | | |
| 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

**記載例）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施項目 | ２月 | ３月 | | |
| 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 |
| 調査計画の調整  ＊調査執行団体との協議 |  |  |  |  |
| 教材の調達 |  |  |  |  |
| 調達教材による調査の実施 |  |  |  |  |
| 効果計測 |  |  |  |  |
| 実績報告書の作成 |  |  |  |  |
| 打合せ（養成施設内） | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 打合せ（調査執行団体） | ○ |  |  | ○ |